

科目名	建築製図 2							年度	2025
英語科目名	Architectural Drafting 2							学期	前期
学科・学年	建築設計科・2年次	必／選	必修	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小林 郁夫		教員の 実務経験		あり	実務経験の 職種		建築設計	
【科目の目的】									
・ 建築計画、法規、構造、設備の重要性を理解し、機能的かつ総括的な建築物を計画することができる ・ 建築設計実務に必要な図面（展開図・矩計図など）を作図できる									
【科目の概要】									
公共建築物の参考図面を基に、ゾーニング・機能図・動線計画の重要性を学ぶ。また、建築設計に必要なその他の図面を読み取り力・描き上げる力を習得しながら、各図面の整合性の重要性を学ぶ。									
【到達目標】									
A. 機能の特性を理解し、ゾーニングすることができる B. 実務に必要な図面を描くことができる C. 各図面の整合性を確認し、正確な図面をまとめ上げることができる									
【授業の注意点】									
評価はルーブリックにもとづいて行い、提出図面の理解度・内容において評価を行う。 学生による積極的な教え合いを実行する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	機能図、動線計画、ゾーニングの重要性を理解し、図面表現ができる		機能図、動線計画、ゾーニングの重要性を理解している		機能図、動線計画、ゾーニングの重要性が理解できない				
到達目標 B	実務に必要な図面を描くことの重要性を理解し、図面表現ができる		実務に必要な図面を描くことの重要性を理解している		実務に必要な図面を描くことの重要性が理解できない				
到達目標 C	各図面の整合性の重要性を理解し、図面表現ができる		各図面の整合性の重要性を理解している		各図面の整合性の重要性が理解できない				
到達目標 D									
到達目標 E									

【教科書】									
建築デザイン製図/学芸出版社 コンパクト建築設計資料集成/日本建築学会									
【参考資料】									
その他配布資料									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果品等で評価する 出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		建築製図 2					年度	2025	
英語表記		Architectural Drafting 2					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	建築計画	来館者と管理者のすみわけ	1	ゾーニング	部門ごとのグループ分けの意味を理解している			1	
			2	機能・動線	利用者ごとの動きの違いを理解している				
			3						
2	建築計画	来館者と管理者のすみわけ	1	外部空間	利用者ごとにアプローチ分けをする意味を理解している			1	
			2	歩車分離	人と車の空間を分ける意味を理解している				
			3						
3	建築計画	プランニングの練習	1	機能・動線	機能と動線を重視し建築物を計画できる			1	
			2	室の広さ	適切な室の広さで計画できる				
			3		公開部門と非公開部門を明確にできる				
4	建築計画	プランニングの練習	1	経済スパン	経済スパンで計画できる			1	
			2	階段寸法	階高と階段広さ、梁との関係を理解している				
			3	階高	利用空間と適切な広さを理解している				
5	建築構造	R C造 ラーメン工法	1	経済スパン	経済スパンで計画することの意味を理解している			1	
			2	メンバー	柱・梁・地中梁などの断面寸法を理解している				
			3						
6	建築構造	R C造 ラーメン工法	1	無柱空間	無柱空間におけるPC梁を理解している			1	
			2	基礎・杭	地耐力と基礎の種類の違いを理解している				
			3	躯体	断面・矩計図の図面表現ができる				
7	建築法規	不特定多数が利用する建物の法規	1	斜線制限	道路・隣地・北側斜線制限の意味を理解している			1	
			2	避難階	避難階とは何かを理解している				
			3	避難経路	屋内外の避難経路の取り方を理解している				
8	建築法規	不特定多数が利用する建物の法規	1	防火区画	火災と防火区画の重要性を理解している			1	
			2	2方向避難	2方向避難と直通階段の意味を理解している				
			3	バリアフリー	身障者も使用する公共建築物への配慮ができる				
9	建築設備	空調・給排水・電気設備	1	空調・給排水・電気	各設備の選択方法を理解している			1	
			2		建物規模と設備空間の関係性を理解している				
			3	PS/DS/EPS	PS・DSなど設置基準と広さを理解している				
10	プレゼンシート	プレゼンシートの表現方法	1	分割法	グリッドに分割してレイアウトする手法を理解している			1	
			2	余白	まとまりと余白の重要性を理解している				
			3	レイアウト	視線の動きに合わせて配置することを理解している				
11	プレゼンシート	プレゼンシートの表現方法	1	文字	フォントと文字のサイズを理解している			1	
			2	着彩	適切な色調を選択できる				

			3	見やすさ	全体の安定感の重要性を理解しているか		
12	図面表現	大梁・小梁 ・PC梁・地中梁	1	大梁	大梁のメンバーを理解し、図面に表現できる	1	
			2	小梁	スラブの負担幅と小梁の関係を理解している		
			3	その他の梁	構造を理解し、適切に図面表現ができる		
13	図面表現	躯体・仕上	1	スラブ・壁	スラブ厚や段差、二重壁などの表現ができる	1	
			2	階高	設備配管と天井懐の関係性が理解できる		
			3				
14	図面表現	展開図	1	展開図	展開図の重要性を理解している	1	
			2	図面表現	展開図の描く方向・順番を理解している		
			3		展開図の表現の仕方を理解している		
15	図面表現	天井伏図	1	天井伏面	天井伏図の意味を理解している		
			2	図面表現	梁と設備配置の関係性を理解している		
			3		天井伏図の表現の仕方を理解している		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							